

◆ News Release ◆

株式会社阪急交通社

阪急交通社グループ 旅行概況(6月分)について

2024年6月の旅行取扱実績について、下記のとおりお知らせします。

株式会社阪急交通社

(単位:千円)

区分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019年 同月取扱高	2019年 同月比
海外旅行	11,326,317	6,552,858	172.8%	17,166,331	66.0%
国内旅行	14,604,718	18,084,209	80.8%	11,914,902	122.6%
訪日旅行	378,478	348,858	108.5%	240,177	157.6%
合計	26,309,513	24,985,925	105.3%	29,321,410	89.7%

【概況】

6月の営業概況は、総取扱額263億951万3千円、2019年同月比89.7%となりました。海外旅行は、6月の出国日本人数が2019年比較で61.2%と前月から4.3ポイント低下し、市場の回復は停滞しているものの、当社では、アジアや欧州を中心に継続的な募集告知を行いました。特に、旅行代金が高騰する傾向にある中、トルコやバリ島など参加しやすい価格帯の商品を取り揃え、全国各地での販売を強化しました。その結果、韓国、トルコ、インドネシアの集客が2019年同月比を上回ったほか、台湾、ベトナムの集客が堅調に推移しました。また、欧州ではベストシーズンを迎えるスイスやイタリアの周遊型ツアーの集客が前年の2倍に伸長しました。海外旅行全体の取扱高では、前年同月比172.8%となりましたが、2019年同月比では66.0%となり、本格的な回復には至りませんでした。

国内旅行は、物価の上昇に伴い個人消費にやや足踏みが見られ、需要がやや低調となる中、当社では、ベストシーズンを迎える北海道の販売を強化したほか、旬の味覚を楽しめる商品や、食事、飲み物、アクティビティなどが宿泊料金に含まれているオールインクルーシブのホテルに宿泊する商品など新たな需要喚起に取り組みました。その結果、北海道の集客が大きく伸長したほか、関東、近畿の集客が堅調に推移しました。昨年とは全国旅行支援の最終月に該当したため、駆け込み需要による取扱いが増加しましたが、本年は反動により前年を下回りました。国内旅行の全体の取扱高は、前年同月比では 80.8%、2019 年同月比では 122.6%となりました。

株式会社阪急阪神ビジネストラベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019 年 同月取扱高	2019 年 同月比
海外旅行	2,510,199	2,758,942	91.0%	3,276,800	76.6%
国内旅行	197,978	183,512	107.9%	257,336	76.9%
訪日旅行	14,311	0	—	2,109	678.6%
合 計	2,722,488	2,942,454	92.5%	3,536,245	77.0%

※2019 年同月取扱高は、阪神トラベル・インターナショナルの取扱高を合計し、2 社内取引を相殺したものです。

【概況】

6 月の営業概況は、総取扱額 27 億 2,248 万 8 千円、前年同月比 92.5%、2019 年同月比では 77.0%となりました。

海外旅行は、インドへの業務渡航需要が引き続き好調に推移しました。前年同月比は 91.0%、2019 年同月比では 76.6%となりました。

国内旅行は、出張の取扱いが増加したことにより、緩やかな上昇基調となり、前年同月比 107.9%、2019 年同月比 76.9%となりました。

グループ2社合計取扱額

株式会社阪急交通社、株式会社阪急阪神ビジネストラベル

(単位:千円)

区 分	取扱高	前年 同月取扱高	前年 同月比	2019 年 同月取扱高	2019 年 同月比
海外旅行	13,462,921	9,066,936	148.5%	20,423,030	65.9%
国内旅行	14,761,185	18,241,706	80.9%	12,048,738	122.5%
訪日旅行	392,789	348,858	112.6%	242,286	162.1%
合 計	28,616,895	27,657,500	103.5%	32,714,054	87.5%

※グループ内取引を相殺したものです。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社阪急交通社 広報部

〒105-0004 東京都港区新橋 3-3-9 TEL:03-6745-7333 / FAX:03-6745-7351

〒530-0001 大阪市北区梅田 2-5-25 TEL:06-4795-5711 / FAX:06-4795-5724